

## 総括部会(まちづくりの進め方)における意見の整理(事務局案)

No	施策	該当箇所	頁	ご意見等の内容	事務局(案)	区分
1	多様な主体と行政との協働	●多様な主体間の連携・協力の促進と行政との協働	資料 4 95	各地域においても人口が減少する中で、生涯学習社会を実現し、その学びの中で人と人のつながりを作っていくことが、まちづくりの本来の考え方ではないか。このことから、今後、各学校では、「学校を核としたまちづくり」という考え方のもと、子どもたちへの教育が行われていくことから、市においても、コミュニティ・スクールや中学校区連携ユニット12の取組を、まちづくりの中で生かすことができれば、市長部局と教育委員会が協力したまちづくりを進められるのではないか。	原案を以下のとおり修正します。  ●多様な主体間の連携・協力の促進と行政との協働 4段落目 「また、 <u>コミュニティ・スクールの導入を契機として、学校と地域との協働を進めるとともに</u> 、高校や大学との連携・協力のもと、若者が主体的にまちづくりに参画できる取組を推進することが重要です。」	原案修正
2	効果的・効率的な行政運営	●組織力・職員力の向上	資料 4 98・ 99	職員の能力向上に関連し、以前は市の若手職員と市内で活動されている同年代の方々との交流が盛んにあり、まちづくりについての様々なアイデアが生まれたりしていたと感じている。そのような取組は、地域の活性化につながるため、ぜひお願いしたい。	主要な意見として以下の内容で整理します。  「持続可能な行政運営と地域のさらなる活性化に向け、市民、事業者、行政の積極的な交流に努められたい。」	主要意見
3	総括	総括	—	産業分野は都市全体の人口問題と深く関連しており、人口が減少し続けている現状のままでは、産業を活性化しようとしてもなかなか難しいのではないか。そのため、人口が増加している明石市と比較分析し、目標を設定してみようか。 明石市においては、JR西明石駅や大久保駅の周辺にマンションが集積しており、非常に住みやすい、通勤しやすいロケーションがあると感じる。また、子育てなど様々な施策を打ち出して人口を増やす努力をしている。さらに、市全体でマスコミをうまく活用してIRやPRをしている印象がある。	主要な意見として以下の内容で整理します。  「人口減少に歯止めをかけるためにも、人口が増加している都市との比較分析に基づく目標設定を行うとともに、市のイメージアップにつながるPRやIRを推進されたい。」	主要意見
4	総括	総括	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、今後、社会経済環境が大きく変わっていく可能性がある。 総合計画は、本市の各施策における今後の方針を大局的な視点でまとめていくものであることから、新型コロナウイルス感染症への対応等について、計画にまとめきれない部分もあるため、今後の取組の中で適時適切に対応していただきたい。	主要な意見として以下の内容で整理します。  「新型コロナウイルス感染症による社会経済情勢の先行きが不透明な中、総合計画に基づく諸施策の推進はもとより、変わりゆく状況に即した、適時適切な対応に努められたい。」	主要意見